

大阪市立 住吉 図書館

〒558-0041 大阪市住吉区南住吉3-15-57 電話 06-6606-4946

耳の不自由な方など、電話の使えない方は⇒ ファックス 06-6606-6987



南海高野線「沢ノ町」をおりて、東へ400メートル

J R 阪和線「我孫子町」をおりて、西へ800メートル

あいている時間

火曜日～金曜日（第3木曜日はお休み）……………10時～7時

土曜日・日曜日・祝日……………10時～5時

休みの日

月曜日、毎月第3木曜日（祝日はあいています）、

年末年始、蔵書点検期間



オムリンです
よろしくね

おおさかしりつ としょかん
大阪市立図書館ホームページ

<https://www.oml.city.osaka.lg.jp/>



① 住吉区のならたち

② 大和川のつけかえ



住吉区マスコットキャラクター「すみちゃん」

この調べかたガイドは、区ごとに2つのことがらを選び、それについて調べるのに役立つ図書館の本や、ホームページで見られる情報を、まとめたものです。

* …住吉図書館にあるもの（*の無いものも、予約して取り寄せることができます。）

…小学生から読めるもの

WEB …大阪市立図書館のホームページにのっている情報です。

しょうかいした本やホームページなどは、一例です。
図書館ホームページ「おおさか資料室」や各館のページにも、「よくある質問」や区に関する資料のリストがあります。見てみてください。
もっとくわしく知りたいときは、図書館のカウンターで相談してください。図書館司書がお手伝いします。

すみよし 住吉区のなりたち

いま すみよし こだい
今の住吉区があるところは、古代から「すみのえ」や「すみよし」と

いま すみのえく ひがしすみよし ひらのく さかいし いちぶ
よばれ、今の住之江区・東住吉区・平野区・堺市の一部とあわせ

せつつのくにすみよしぐん めいじ ねん おおさかすみよしぐん
て「摂津国住吉郡」でした。1878(明治11)年、大阪府住吉郡に

ねん めいじ ねん ひがしなりぐん いちぶ たいしょう
かわり、1896年(明治29)年、東成郡の一部となり、1925(大正14)

ねん おおさかしすみよし いま ひろ すみよし
年、大阪市住吉区になりました。今よりも広がった住吉区から、

しょうわ ねん あべのく ひがしすみよし わ
1943(昭和18)年に阿倍野区・東住吉区が分かれました。さらに

しょうわ ねん すみのえく わ いま すみよし かたち
1974(昭和49)年に住之江区が分かれて、今の住吉区の形にな

りました。



「『大阪』住吉神社」(大阪名所絵葉書[1]より)

WEB「デジタルアーカイブ」→「簡易検索」→「住吉大社」で検索

『わたしたちの住吉区』住吉支部社会科研究部編 住吉支部社会科研究部 1979 * 🗺️

『住吉区誌 -分区十周年記念-』住吉区役所編集 住吉区分区十周年記念事業委員会
1953 *

『住吉区史』大阪都市協会編集 住吉区制七十周年記念事業実行委員会 1996 *

『日本歴史地名大系 28-[1] 大阪府の地名1』平凡社 1986 *

やまとがわ 大和川のつけかえ

むかし やまとがわ いま かしわらし せいほく ほうがく かわ
昔の大和川は、今の柏原市から西北の方角に、いくつもの川に

わ なが おおさかじょう きた よどがわ そそ
分かれて流れ、大阪城の北で淀川に注いでいました。まわりの

とち かわぞこ たか おおあめ なんと かわ みず
土地よりも川底が高かったため、大雨のときは何度も川の水があ

えど じだい いまごめむら いま ひがしおおさかし しょうや
ふれました。江戸時代、今米村(今の東大阪市)の庄屋・

なかじんべえ すいろ か ぼくふ もと つづ
中甚兵衛などが、水路を変えるよう幕府に求め続け、1704

ほうえいがん ねん がつ がつ えど ぼくふ こうじ
(宝永元)年2月から10月にかけて、江戸幕府がつけかえ工事を

おこな ご やまとがわ いま かしわらし にし む
行いました。その後、大和川は、今の柏原市から西に向かって

おおさかわん そそ
大阪湾に注ぐようになりました。

『甚兵衛と大和川-ジュニア版-(大和川叢書 3)』中九兵衛[著] 中九兵衛 2007 * 🗺️

『わたしたちの大和川』「わたしたちの大和川」研究会監修・編集「わたしたちの大和川」
研究会 1999 * 🗺️

『甚兵衛と大和川 -北から西への改流・300年-』中九兵衛[著] 中九兵衛 2004 *